

社外の方からの評価

地域と共に育つグループに向けて

「あって当たり前」と思われるエネルギーを作り、届ける九電グループの毎日の業務は多くの人たちにとって未知です。この報告書はそれを明確にする努力の結晶で、前年度からの改善が確認できます。

本報告書について、ステークホルダーとのコミュニケーションツールとしての位置づけを踏まえ、掲載項目や内容の妥当性、全体のバランス等の観点から評価し、今後の期待も含めて考えを共有します。

<評価すること>

「お客さま満足の創造」の充実

昨年も災害が九州を襲いました。九州北部豪雨で発生した流木の再利用(p.26)、停電事故の未然防止(p.27)、原子力災害時の自治体の避難計画等への支援(p.49)など、きめ細やかな対策でお客さまのニーズに応える努力が見られ、頼もしい、しなやかな九電グループの足跡が見られます。

お客さま満足のための従業員満足度向上

「働きやすい。グループに寄与したい」という気持ちを従業員が共有することがお客さま満足の前提です。

従業員満足度の向上に向けて、健康経営の推進(p.59)、活き活きとした職場づくり(p.107~108)、『組織風土改革』により醸成された変革の気運をベースに『業務改革』を推進し、その成功体験が従業員の自信とさらに良い組織風土につながるという好循環の輪を回す取組み(p.15)、経営層と社員とのコミュニケーション(p.15)など、幅広く工夫しながら取り組んでいる点は高く評価できます。

九電グループが目指す地域との協働

九電グループには、地域と協働し、共通のゴールを目指すことが求められています。事業所オープンデーや出前授業(p.87)、テレビCM・生活情報誌・Facebook等による情報発信や原子力関連情報の公開(p.89~p.92)など、地域との様々なコミュニケーション活動を通じて醸成された信頼関係がベースとなり、地域と協働して取り組む環境活動などの参加者が増え、多くの人たちから支持されています。引き続き、地域との協働の充実に向けて、地域のニーズを踏まえた多様な取組みを期待しています。

<今後への期待>

女性管理職の新規登用数増加という2017年度目標は前倒しで達成していますが、管理職や従業員の男女比率には依然として偏り(p.109)があります。社会の範となる職場モデルを提唱することもCSRの一環です。女性活躍も含めたダイバーシティ推進に向けた取組み(p.109~112)の進展に期待します。

また、わかりやすい情報発信に向けた取組みとして、UCD(ユニバーサル コミュニケーション デザイン)の導入(P91)は評価できます。しかし、本来、コミュニケーションデザインでは、見た目のわかりやすさととどまらず、タイムリーな情報発信を行うため、企業全体で情報をきちんと共有する仕組みを構築・運用していくことが重要であり、後者に向けた努力も望まれます。

九電グループは2030年のありたい姿として『日本一のエネルギーサービス』を提供する企業グループ』との中期的展望を明確にしています(p.9)。また、持続可能な開発目標であるSDGsについて、さまざまなゴールの実現に向けて取り組むとともに、その取組成果を積極的に発信する意気込みを感じます。今後、これらの実現に向けた取組みを通して、九電グループが、九州を代表する企業として社会全体で共有できる価値観の創造の牽引役を担うことを願います。

西南学院大学
教授(コミュニケーション学)
みやはら あきら
宮原 哲氏



評価を受けて

CSR報告書の信頼性向上と取組みの充実を図るため、西南学院大学の宮原教授に、客観的な立場からご意見をいただきました。

当社グループは、九電グループの思い「ずっと先まで、明るくしたい。」を実現し、社会の持続的な発展に貢献していくため、CSR経営を推進しています。2017年度は、被災地の復興支援に向けた取組みや、原子力発電への不安や疑問に丁寧にお応えするコミュニケーション活動など、CSRの取組みを充実させました。

今後への期待としていただいたご意見につきましては、次のとおり取り組んでいきます。

- ・女性など多様な人材を活かすダイバーシティの推進に向けては、「意識・組織風土改革」「人材育成」「働きやすさと働きがいの追求」を柱として取組みを推進していきます。
- ・また、企業全体での情報共有にあたっては、業務報告の

徹底や情報共有ルールを定めた社内規定の遵守はもとより、部門横断課題について審議・調整する会議体や九電グループ全体の双方向サイトなどを活用し、引き続き迅速かつ的確な共有に努めていきます。

- ・そして、社会全体で共有できる価値観の創造については、イノベーションを推進し新たな事業やサービスを創出するなど、ステークホルダーの皆さまへの価値提供を果たしていきます。

当社グループは、今後もCSR経営を推進して、地域・社会の皆さまとともに持続的な発展を目指してまいります。

九州電力株式会社
代表取締役 副社長執行役員 CSR担当
やくしんじ ひでおみ
薬真寺 偉臣

